



The 23rd Annual Meeting of The Japanese Society for Neuroendovascular Therapy
第 23 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会総会

会期：2007年11月14日(水)―17日(土)
会場：神戸国際展示場
会長：坂井信幸(神戸市立医療センター中央市民病院)
URL：www.jsnet23.umin.jp/

事務局：先端医療センター脳血管内治療科内
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2-2
TEL: 078-306-3522, FAX: 078-306-0768
E-mail: ibri-net@fbri.org

各位

拝啓 向夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

2007年11月14日(水)―17日(土)に第23回NPO法人日本脳神経血管内治療学会総会を開催させていただきますが、本年はGDCとCASの国内導入から10年の節目を迎えます。第1日に海外ゲストのmini lectureとlive demonstrationを予定するなど、「今年の神戸は面白い」を合い言葉に、「参加して良かった」というご評価を得られる学術総会にすべく鋭意準備を進めております。すでに6月1日から演題を募集しておりますので、皆様の積極的なご応募、ご参加をお願い申し上げます。

さて、頸動脈ステントおよびプロテクションデバイスの薬事承認および健康保険収載は、我々頸動脈ステント留置術(CAS)に携わる者だけではなく、低侵襲治療を待ち望む患者さんや脳血管疾患の治療に携わる者すべての悲願です。昨年6月の薬事承認申請を受けて現在確実に審査が進み、早ければ今秋の承認、来春の保健収載が現実味を帯びてきました。

新しい医療器材と技術の正式承認を前に、実施基準と術者教育プログラムに関する関連諸学会のコンセンサス形成も整いました。第4日(17土)は、午前7時からFilter Protectionに焦点をあてる「Special Focus Live Demonstration on CAS Filter」に引き続き、午前9時からシンポジウム4「CAS時代を迎えた頸動脈狭窄症の治療戦略―より安全な血行再建を目指して」を開催いたします。

現在、オフラベル(適応外使用)状況下で実施されているCASの実態を把握した上で、CASを正規に承認された治療として安全に実施していくことが求められております。NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術委員会と協力し、本シンポジウムにてこれまでの実績を調査し、今後のCASの展開に資することを目標にアンケート調査を実施することになりました。別紙の調査用紙にご記入いただき、FAXまたはメールにてお送りいただきますようお願い申し上げます。本調査の意義をご理解賜り、何卒宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

最新の学会情報を、WEB(<http://www.jsnet23.umin.jp/>)にて随時お知らせしております。皆様のご来神と積極的なご参加ご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具

平成19年7月10日
第23回NPO法人日本脳神経血管内治療学会
会長 坂井信幸
(神戸市立医療センター中央市民病院)